

Q1-1. 臍帯血って何ですか？

お腹にいるお子さん(胎児)は臍の緒によって胎盤とつながっています。胎盤は血管に富んだ組織で胎盤の血管は臍の緒の中を走る 2 本の動脈と 1 本の静脈とによって胎児とつながって血液の循環が行われています。出生後は臍の緒が結ばれて切断されます。その時に胎盤と臍の緒の血管の中に残った血液を臍帯血と呼んでいます。胎盤血と呼ぶこともあります。臍帯血の成分は赤ちゃんの血液と同じもので、3kg の赤ちゃんで 120mL 前後あると考えられていますが胎盤とともに捨てられてしまっています。臍帯血が注目されているのは幹細胞と呼ばれている特殊な細胞が臍帯血中に多く含まれているからです。現在は公的臍帯血バンクに登録されている産科施設で臍帯血を採取して臍帯血バンクで臍帯血幹細胞の分離・保存が行われています。臍帯血バンクで保存された幹細胞は白血病を中心に、骨髄異形性症候群、再生不良性貧血、先天性免疫不全症（重症複合型免疫不全症、Wiskott-Aldrich 症候群、Chediak-Higashi 症候群）、先天性代謝異常症（ハーラー病、ハンター病などのムコ多糖症）、副腎白質ジストロフィーなどの疾患）の治療のために使用されています。

（細野 茂春）